

1 開会

※教頭開会の言葉、北海道ろうあ連盟の通訳2名の方の紹介

2 主席者確認

教頭： 田中様が仕事の都合で来られない。代理で函館聴覚障がい者協会会長の石井様が参加予定であったが、体調不良で欠席になった。

その他に都合が悪く欠席という方もいるが、このメンバーで運営協議会を行う。

3 学校長挨拶

- ・本校の1年間の取組や学校評価についてお知らせする。
- ・来年度に向けての学校運営計画を見ていただき承認していただく。
- ・最近の様子について、ホームページに載せてある資料をお配りした。

※えさん小との交流、深堀小学校での授業や本校児童生徒のセルフアドボカシーなど。

4 日程説明、諸連絡

教頭： 第1回のこの委員会で丸藤様、京谷様を選任しているので、本日も協議進行は会長・副会長にお願いしたい。

※日程説明

5 協議・連絡報告

<協議>

(1) 令和5年度北海道函館聾学校「学校教育活動」について(小野)

※スライドによる説明、別紙資料参照

丸藤様：※質疑

校長： 補足。(スライドの)サンタはだれだったか？

乳幼児相談室では教頭先生、幼稚部ではボランティアバンクで参加していただいた元職員の志村先生にサンタ役をやっていただいた。

京谷様： 赤鬼はだれがやっているのか？

校長： 乳幼児相談室の職員が行った。

コーディネーターの小野先生の紹介。

小学部の米づくりについて。1人しかいない5年生が「世界一のおにぎりづくり」について他の児童に授業を行った。2年前は漁師の話、去年は函館牛乳に行き農業を体験した。

京谷様： 雪遊びだったり、クリスマスや餅つきだったり、どれも先生たちの思いや愛情や工夫がスライドからすごく感じるということが、この学校の特長であると思う。

「世界一のおにぎり」の学習で、例えば、児童さんを講師ということで、学童の集まり、食堂でおにぎり作りの講師で来てもらう。町内会で、「おにぎりを作ろう」というイベントで話をしてもらうなど、つなげることができれば活動が広がる。防災マップの発表のスライドをそのまま深堀小学校の総合などの「災害を学ぶ」のような授業で発表してもらうと、深堀小学校の児童の刺激になる。聾学校の子どもたちはプレゼンテーションのレベルが高い。先生方も一生懸命いろいろなところで支えている。

校長： 児童が1人しかいないので、全部その児童が行うことになるため、教育活動の中で上手くマッチングしていくことが大切である。

京谷様： できているものをどこかの場所でもっていくとそのままできるのでは。大人や子どもにも通じると、防災マップを見て感じた。

校長： 次の職員会議で職員に伝えていきたい。

～3時間授業参観・施設見学～

※授業参観

(2) 函館聾学校ボランティアバンクについて (教頭)

※教頭が資料をスライドで説明

教頭： 18名の方が登録している。

令和5年度の実績について説明。絵本の読み聞かせ、幼稚部のクリスマス会のサンタ、学習発表会の会場の片付けなども手伝いなど協力いただいた。

丸藤様：※質疑

校長： 広報をどのようにしていったらよいか？全ての大学に掲示。盲学校とともに函館市の広報に載せてもらえるよう進めている。何か方法があれば教えてほしい。

丸藤様： 口コミが大切。来年度からフリーランスになるが、時間がありそうであれば登録したい。

(3) 学校評価について (教頭)

教頭： ※スライドで説明。別紙資料参照

丸藤様：※質疑

京谷様： 2(1)の②の「研究・研修を実践に活かす取組について」、学校の様子を何度か見せていただいているが、子どもたちの表情がとても良く、先生方も一生懸命心を込めて対応し、工夫しているのが分かる。

校長： 本校では、教員は授業研究で一人一実践を行い、反省会で校長や教頭が助言を行う。講師招聘研修として年間3回聴覚障がい者協会の協力を得て、手話を教えてもらい授業改善に活用している。今年から来年度にかけて取り組んでいるのは、講師招聘のプラスアルファとして、来年度北海道聴覚障害教育研究大会があり、それに向けて東北福祉大学の太西教授に今年度と来年度に継続して本校を見に来て講演をしてもらい、講演の様子を全道配信している。特別支援教育センターの宮町研究員には手話の力を高めるため今年は2回、来年度1回来てもらい集中して研修している。

京谷様： ここの先生方の意識の高さや専門性が印象的である。

青木様： 通われている方の数や教職員の数を想定し、比較的评价の低いCなどもありアンケートとしてはしっかりとしている。3.2という評価については学校としてもどうしようもない部分がある。予算についても北海道のことなので校長先生や教頭先生が頑張ってもどうしようもないかと思った。働き方改革についてはどこでも課題としてある。一定の水準を保たれているためにすごく努力をされていることに興味する。働き方改革については全道で交流できる場所などで交流してはどうか？これは一つのところで解決できるものではないかと考える。校長先生や教頭先生と一緒に、皆さんが頑張られてこられたことが分かった。

鏡様： 「世界一のおにぎり」について、田植えから一貫して米が採れ、おにぎりを握るまでを1年通してやられたということで、子どもの発表もすばらしい。その裏での先生方のサポートもすばらしい。

丸藤様： 保護者のみなさんへ先生方が研修を受けていることを伝えては？

校長： 4月のPTA総会で伝えたい。

丸藤様： 学校でやっていることを保護者に伝えきれていないのはもったいない。

谷山様： 私は職業をもちながら、子育てをしていたので、子どもたちの授業の環境、どういう授業をしてもらっているのか？馴染んでいるのか？分からなかった。(学校評価では)個別に点数の低い部分では対応しており、保護者がいつでも授業を見られることはすごく安心できる。個別に対応して、関係性を作っている。これからも続けてほしいと思う。

校長： Cの意味を知りたいということで、それを生かしていかなければ意味がない。昨日、幼稚部の1日入学があり、保護者と面談をした。聾学校は特にお父さんお母さんだけでなく、兄弟姉妹、おじさんおばさんもみんなに学校に来てほしい。このことでお子さんをより理解していただき、多くの方にサポートしていただける環境を作りたい。なかなか来られない方が多いが、そこはオープンに学校開放していきたい。

(4) 令和6年度学校経営計画について(校長)

校長： 資料の説明

令和6年度学校経営方針、道教委の「特別支援教育に関する基本方針」における聴覚障がい特別支援学校に関する内容、令和6年度北海道函館豊学校グランドデザインの説明。

(5) 質疑応答

丸藤様：※質疑

仲尾様：130周年は令和7年か？場所は？50年前は盲学校でやったが？

校長：再来年度である。細かい内容はまだ決まっていない。記念誌についても決まったらお知らせする。式典は豊学校で行う。盲学校の子どもたちもバスで来て、式に参加する予定。夜の会は行わない。

丸藤様：お手伝いできることがあれば言っていたきたい。

「令和6年度学校経営計画」について承認を得られるか？拍手をお願いしたい。

※拍手で承認にされた。

「各運営委員から感想」

京谷様：地域にあった学校がこんなステキな学校があることが分かった。この学校の良さを地域や深小・深中につなげてみてはどうか？

仲尾様：小6の受賞（全国豊かな海づくり北海道大会作品コンクールの環境相賞）がすばらしかった。

谷山様：今日、町内で月一回の集まりがある。深堀小学校の小3の子どもたちへのことを皆に伝えたい。町会の中で手話ができる方もいるので、ボランティア参加については働き掛けたいと思う。

青木様：教頭先生や校長先生がさりげなくスライドの写真に写っている。現場の先生と一緒に働いている様子が分かった。現場で働いている先生方が子どもさんの教育に日々奮闘されおり、敬意を表したい。

鏡様：先生方が子どもたちと寄り添って丁寧に接しているということが一番感じた。なかなかこういう現場は見られないのでとても勉強になった。子どもはそれぞれ違うが、それに寄り添っていることがすばらしかった。

丸藤様：皆さん本当に一生懸命やっていたい。毎回思うが多くの皆さんにそれを知ってもらいたい。お互いに理解し合って、連携もでき学校だけではなく地域にもプラスになる。そのような力がほしいとか、あのような人の力があつたらということがあればどんどん言っていたいただければありがたい。

<連絡報告>

(1) 令和6年度の協議会の予定について(教頭)

教頭：この協議会の任期は2年間となる。来年度もよろしくをお願いしたい。引っ越し、転勤等あればお知らせ願いたい。6月、11月、2月の年3回予定しているが、詳しくは新年度に連絡する。

(2) 中学部3年生の進路状況について(教頭)

教頭：高等豊学校の入選選考検査で生活情報科1名、クリーニング科1名受検し、合格した。

7 その他

校長の近況報告

- ・聴覚障がい協会の新年会に参加した。
- ・卒業生の様子について（病院勤務、ホテル勤務、高校の食堂勤務）。
- ・明日、ノーマリー教室で駒場小学校に行く。
- ・市立函館高校に招かれて授業を行っている。

8 閉会